



農業法人「信州池田アグリ」株式会社への 町株増資予算は 賛成多数で 可決される

10月7日に臨時議会が開かれ、農業法人出資金予算（「信州池田アグリ」株式会社への町株増資予算：180万円）を盛り込んだ「一般会計補正予算（第6号）議案」は賛成多数（6：4）で可決されました。この件についての経過と私の考え方についてお知らせいたします。

1. 農業法人出資金予算の経過

【9月定例議会】

この農業法人出資金予算は9月定例議会の一般会計補正予算（第4号）議案に記載されており、この件についての町長の説明は下記のとおりである。

《9月議会での農業法人出資金予算についての町長の説明》

- 農業法人「信州池田アグリ」株式会社の経営会議を7回ほど開き協議したが、結論がでず、前に進められない。また、法人代表が辞任意向を示した。
- この状況を打開するには、町が法人を主導していくことが必要であり、9月3日の株主総会で私が法人代表に就任する議案が承認された。
- 私が法人代表になるには町が法人株の過半数以上保有することが地方自治法で定められている。不足分の36株を購入するのに180万円が必要なので、一般会計補正予算に盛り込んだ。

《町長の説明に対する私を含めた議員有志の意見》

- 上記の件は多くの農業者や町民に知らされていない。農業者・町民の協力なくして農業課題の解決はできない。先ず、町民説明会を行った後、議案提出すべきである。

◎議会最終日：農業法人出資金を除いた一般会計補正予算（第4号）を提出。全議員賛成で可決。

【9月29日】町：「農業法人出資金予算」についての町民説明会実施。約50人参加

- 参加者の声：町は地域の農業者の意見・声をもっと聴いて欲しい。

2. 10月7日 臨時議会

一般会計補正予算（第6号）についての町長説明と私の反対討論

町長：説明会を行い、農業の担い手不足解消などを期待する声もあり、「一定の合意はできた」と判断した。一緒にやりたいと言う農業者に寄り添うため、事業を前に進めたい。

【薄井反対討論】

- 農業者の高齢化にともなう遊休農地の拡大、担い手不足などに対応していくには、行政・農業者・町民が力を合わせる必要がある。
- 説明会を2回傍聴したが、農業者・町民の十分な理解が得られたとは言い難い状況である。また、株式会社の財政収支や財政シミュレーションも話されなかったのも残念である。
- 本議案により町が株式会社の全責任を負うことになる。会社で赤字が出た場合、町が立て替えることになり、町財政を破綻させる恐れもある。
- 株式会社を立ち上げるには、事業・財政計画を専門家（農業専門家・銀行）に見てもらい「大丈夫」と言われる計画を立ててから実施するのが通常である。それがなされていない。
- 今、必要なことは、農業者・町民・行政で話しあい、農業のビジョンやそれを実現する現実的な事業・財政計画を立ち上げることであり、話し会える体制を築くことである。

《私の思い》町が農業法人を主導していくことが決まりました。法人（町）が町の農業課題を解決し、町財政にマイナスの影響を及ぼさないよう提言していきたいと思います。